小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人髙陽会	代表者	高木洋
事業所名	小規模多機能型居宅介護 風の家	管理者	百々健

法人・事 業所の特 徴 その人らしさを大切に、常に利用者、家族にあった支援ができるように日頃から のコミュニケーションを大切にしています。また、立地条件を活かしスーパーへの 買物や散歩等で、日中の活動量を多くする様に努めています。

紀の川市唯一の事業所であり全域をカバーできる様に頑張っています。

出席者	市町村職員	知見を有するも の	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センタ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2 人	0人	2 人	0人	1 人	1 人	2 人	2 人	0人	10 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・	意見	今回の改善計画
	い口かび日川日	結果		7000000
A. 事業所自己評価の 確認	・勉強会はおこなえたが、十分に 理解し実施する事は出来ていな い。勉強会を重ね上手く自己評 価ができるようにする。	・勉強会は理解できており実施できている。	・頑張って取り組んでいるとは思 うが、実践できていない事もあ る様なので引き続き頑張っても らいたい。	・前年度より深い内容の勉強会 を行い理解を深め自己評価を上 手くできるようになる。
B. 事業所の しつらえ・環境	・1ヶ月に一回相談会を行い、気軽に見学をしてもらえるようにする。・地域のサロンへの参加	相談会の開催はできているが 相談者が少ない。地域サロンへの参加はできて いない。	・掃除もできており清潔感がある。台風の被害があった所も修繕できており安心。・事業所は鍵もかかっておらず入りやすい。・相談会を頑張って欲しい。	・月1回カフェを開催し家族や 地域の方が入りやすい環境を 作る ・相談会を継続し行き地域の方 に来てもらいやすいようにす る。 ・毎週、事業所内・外をチェッ クし環境整備を行う。
C. 事業所と地域のか かわり	・地域行事への参加回数を増やす。・消防訓練への参加してもらい、より地域との深いつながりができるようにする。・月1回の相談会にて、相談しやすい雰囲気を作る。	・消防訓練に参加してもらえた。 ・相談会は毎月開催できていた。 ・地域行事への参加回数は例年通 りであった。	・消防訓練に参加してもらい意見 交換ができたことで職員の意識 も向上した。・相談しやすい場所であることを もっとアピールし、気軽に来て もらえるようにしてもらいた い。	・地域の方が参加できるようなイベントの開催・相談会を継続していく・カフェを開催し気軽に入る事のできる雰囲気を作る

,	地域に出向いて本 人の暮らしを支え る取組み	・地域行事への参加回数を増やす。・夏祭りを実施し、近隣住民の方へ参加してもらい関わりを持てるようにする。	・地域行事への参加回数は例年と変わらず増やす事ができなかった。・夏祭りの実施ができなかった。	・散歩やドライブ、買物で地域 に関わる事はできていたようだ が、例年と変化はなかった様に 思う。	・近隣へのドライブ回数を増や し地域行事に参加できるよう にする。・相談会とカフェを開催し、心 配事に対し関わっていけるよ うにする。
	運営推進会議を 活かした取組み	・地域で取り組めることを提案し 運営推進会議で話合う。・会議で出た話を事例検討に繋げる事ができるようにする。	・会議で出た事について話し合う ことはできているが、事例検 討に繋がっていない・地域でできる事について話もで きている。	討はできていない。特に事例検 討する事案がない。	・事業所の取り組みについて説明はしているが詳しくできていない部分もある為、その部分についてより報告する。・地域の取り組みを把握する。
	事業所の 防災・災害対策	・消防団、市役所へ案内を出し消防訓練に参加してもらう。 ・運営推進会議にて事業所の防災計画について報告する。 ・運営推進会議参加者に消防訓練の案内を出し、参加してもらえるようにする。 ・地域の防災訓練の情報を集め参加する。	防災意識が高まった。	組んでくれているようである。	・継続し、消防団や市役所に案内を出し消防訓練に参加してもらう。 ・防災訓練の様子を写真付きで紹介する。 ・運営推進会議参加者に消防訓練の案内を出し、参加してもらえるようにする。 ・地域の防災訓練の情報を集め参加する。 ・運営推進会議に防災計画について話する。